

文化財（国登録有形文化財）の登録について

登録される文化財建造物の概要は以下のとおりです。（※下線は用語解説あり）

■今回答申される文化財建造物（兵庫県分） 14件・6箇所

（１）長田家住宅（旧石阪家住宅）主屋（おさだけじゅうたく（きゅういしさかけじゅうたく）しゅおく） 1棟

所在地：兵庫県神戸市兵庫区会下山町1丁目4-1

特徴等：手斧（ちょうな）仕上げの付柱や梁を現しとして民芸調意匠の内部空間をもつ住宅。

（２）旧芦屋郵便局電話事務室（きゅうあしやゆうびんきょくでんわじむしつ） 1棟

所在地：兵庫県芦屋市大榎町8-1

特徴等：鉄筋コンクリート造で側廊に半円アーチを連続させ、獅子頭・レリーフ装飾を付すなどした特徴的な意匠を有する。

（３）旧高砂銀行本店（高砂商工会議所会館）（きゅうたかさごぎんこうほんてん（たかさごしょうこうかいぎしょかいかん）） 1棟

所在地：兵庫県高砂市高砂町字北本町1104他

特徴等：正面にオーダーの柱を立て頂部を文様で飾り古典主義洋式に倣い当時の銀行社屋の特徴を示す。

（４）旧高砂通運本社屋（きゅうたかさごつううんほんしゃおく） 1棟

所在地：兵庫県高砂市高砂町字鍛冶屋町1396

特徴等：壁頂部の水平ライン、各面の矩形開口部などモダニズム建築に通ずる外観意匠の事務所。

（５）旧高砂消防会館・南本町巡査派出所（きゅうたかさごしょうぼうかいかん・みなみほんまちじゅんさはしゅつしよ） 1棟

所在地：兵庫県高砂市高砂町字南本町914

特徴等：派出所は台形屋根で簡略化された破風を見せ装飾的で地域の防災・防犯拠点を象徴する建物。

（６）阿江家住宅・阿江ハンカチーフ（あえけじゅうたく・あえはんかちーフ） 9棟

所在地：兵庫県加東市下滝野590他

特徴等：阿江（あえ）家は明治初期に織物業を創業した。主屋南・東棟は地松等良材を用い、天井を高く取り変化に富んだ格天井とするなど内外部に意匠を凝らし特色ある近代和風建築。主屋北西棟は平屋であるが軒高が高く小庇を四周に廻らし、外壁のほとんどを板張とし小壁と軒付壁のみ色土壁とする独特の外観を持つ。内蔵もあわせて保存を図る。

阿江ハンカチーフは明治44年、阿江織布工場として創立した。旧工場は力織機の導入に伴い建設された六連片流屋根の工場で明治創業時の工場の様相を今に伝える。検反場一は旧工場の北西に建つ三連片流屋根の工場と旧工場とともに明治創業時の工場を構成する工場建築の一つ。検反場二は西側敷地の門の北側に建つ、内外壁や採光窓など良く残り織物産業の生産工程を伝える施設の一つ。敷地内には工員の生活のための旧寄宿舎や旧食堂が残り、旧製品倉庫と共に保存を図る。

■答申が行われる建造物の概要

<全国>

	新規登録	累計
登録数	2 2 6 件	1 1, 2 6 3 件
関係市町村	6 1 市町村 (区)	8 9 1 市町村 (区)
関係都道府県	2 7 都道府県	4 7 都道府県

<兵庫県>

	新規登録	累計
登録数	1 4 件 (6 箇所)	6 5 0 件 (1 8 2 箇所)
関係市町村	4 市	3 0 市町

○登録有形文化財登録説明 (1-1)

名 称：長田家住宅（旧石阪家住宅）主屋（おさだけじゅうたく（きゅういしきかけじゅうたく）しゅおく）

所在地：兵庫県神戸市兵庫区会下山町1丁目4-1

年 代：昭和15年頃

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：南斜面の丘陵地に建ち、東半を二階建、西半を平屋建とする。西側の和室は網代天井や下地窓等数奇屋風意匠を見せる。東側にはポーチ付の玄関と吹抜けのある応接室、二階に洋室などを備える。手斧仕上げの付柱や梁を現しとした民芸調意匠の内部空間を構成する。

備考（調査等）：石阪家は、明治14年より商店を営み、高台の当地に住居を求めた。建築年代は伝承による。

○登録有形文化財登録説明 (2-1)

名 称：旧芦屋郵便局電話事務室（きゅうあしやゆうびんきょくでんわじむしつ）

所在地：兵庫県芦屋市大榭町8-1

年 代：昭和4年／平成16年改修

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：住宅街の角地に建つ。鉄筋コンクリート造二階建で東西に長いL字平面を持ち、外壁は下層と上層で色違いのスクラッチタイル貼とし、北面には側廂に半円アーチを連続させる。また、一部窓の間には獅子頭・レリーフ装飾を付すなど、特徴的な意匠を有する。

備考（調査等）：建築年代は図面による。設計は逋信省技師上浪朗、施工は森田組。地元住民の寄付により建てられた。「芦屋モノリス」の名で結婚式場として活用されている。

○登録有形文化財登録説明（３－１）

名 称：旧高砂銀行本店（高砂商工会議所会館）（きゅうたかさごぎんこうほんてん（たかさごしょうこうかいぎしょかいかん））

所在地：兵庫県高砂市高砂町字北本町１１０４他

年 代：昭和７年／昭和５５年改修

登録基準：二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：本町通りに面して建つ銀行建築。鉄筋コンクリート造二階建で、正面中央を出入口とし、両脇にイオニア式オーダーの柱を立て、頂部にパルメット文様、持送りを並べたエンタブレチュアを廻らすなど外観は古典主義様式に倣い、当時の小規模銀行建築の特徴を示す。

備考（調査等）：建築年代は『高砂市史』による。昭和５５年以降商工会議所として使用。内部一階は吹抜けの営業室であったが、商工会議所となった時鉄骨造で床が張られ二階がつくられている。

○登録有形文化財登録説明（４－１）

名 称：旧高砂通運本社屋（きゅうたかさごつううんほんしゃおく）

所在地：兵庫県高砂市高砂町字鍛冶屋町１３９６

年 代：昭和１４年／平成２７年改修

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：商店街の角地に建つ事務所建築。木造二階建で通りに面した外壁を煉瓦積スクラッチタイル貼とする。屋根は緩勾配の寄棟造鉄板葺。平坦な壁面、壁頂部の水平ライン、矩形の開口部を各面に設けるなどモダニズム建築に通ずる外観意匠を見せる。

備考（調査等）：建築年代は小屋内墨書（上棟）による。棟梁は辰巳八十吉。平成２７年に外壁に張られていた新建材を撤去して外観復原、内部の改修を実施。現在は一階を飲食店、二階を展示に利用している。

○登録有形文化財登録説明（５－１）

名 称：旧高砂消防会館・南本町巡査派出所（きゅうたかさごしょうぼうかいかん・みなみほんまちじゅんさはしゅつしょ）

所在地：兵庫県高砂市高砂町字南本町９１４

年 代：昭和１０年／平成２７年改修

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：本町通りに面して建つ消防会館兼巡査派出所。鉄筋コンクリート造二階建の消防会館の南に平屋建の派出所が取り付く。消防会館は陸屋根の簡素な外観だが、派出所は台形屋根で簡略化された破風を見せるなど装飾的である。地域の防災・防犯拠点を象徴する建物。

備考（調査等）：建築年代は『新築工事概要』による。設計は畑中美郎、施工は川崎傳七。平成２７年改修、耐震補強とともに外観復原。現在は水防倉庫、展示や交流・集会スペースとして活用。

○登録有形文化財登録説明（６－１）

名 称：阿江家住宅主屋南・東棟（あえけじゅうたくしゅおくみなみ・ひがしとう）

所在地：兵庫県加東市下滝野５９０

年 代：昭和２３年頃

登録基準： 二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：市街地北西部の加古川沿いに位置する。西面する玄関から応接間、客間、茶の間、台所を一行に並べ、Ｌ字に北へ和室と仏間を繋げる。地松等良材を用い、天井を高く取り、変化に富んだ格天井とするなど、内外部に意匠を凝らす。特色ある近代和風建築の一例。

備考（調査等）：阿江家は、明治初期に織物業を創業した。主屋は昭和２１年火災後の再建。

○登録有形文化財登録説明（６－２）

名 称：阿江家住宅主屋北西棟（あえけじゅうたくほくせいとう）

所在地：兵庫県加東市下滝野５９０

年 代：昭和２３年頃

登録基準： 二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：南・東棟から廊下を介して建つ。居室となる和室四室を田の字に配する。平屋であるが軒高は高く、持送りで支える小庇を四周に廻らす。東西面の窓は片引で開口が小さく、外壁のほとんどを板張りとし、小壁と軒付壁のみ色土壁とする独特の外観を持つ。

備考（調査等）：主屋は昭和２１年火災後の再建。

○登録有形文化財登録説明（６－３）

名 称：阿江家住宅内蔵（あえけじゅうたくうちぐら）

所在地：兵庫県加東市下滝野５９０

年 代：昭和２３年頃

登録基準： 二 造形の規範となっているもの

特徴・評価：東棟の北に接続する。４．９ｍ四方の二階建、切妻造妻入で、蔵前を付ける。正面のみ海鼠壁で他は漆喰仕上げ板張りとし、一階は北面に二所丸窓を、二階は東西に一所ずつ片引窓を開ける。戸口の観音扉や土戸には黒漆喰塗を施すなど丁寧な造りの蔵である。

備考（調査等）：建築年代は主屋と同時期と推定。

○登録有形文化財登録説明（６－４）

名 称：阿江ハンカチーフ旧工場（あえはんかちーふきゅうこうじょう）

所在地：兵庫県加東市下滝野字安井５９３－３他

年 代：明治４４年／昭和６２年頃改修

登録基準： 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：力織機の導入に伴い建設された六連片流屋根の工場。西を正面とし、桁行１

5 m、梁間2.9 mの規模は一間毎に配置する織機の大きさに合わせたもの。桁行半間毎にトラスを架け片流屋根で採光窓も残る。明治創業期の工場の様相を今に伝える建築。

備考（調査等）：『滝野町史』によると力織機の導入は明治38年とある。『加東郡誌全』により、阿江織布工場として、明治44年2月の創立で、綿織物・絹綿交織・ネル地を生産した。鉄板の下には当初の瓦や壁が残る。

○登録有形文化財登録説明（6－5）

名 称：阿江ハンカチーフ検反場一（あえはんかちーふけんたんばいち）

所在地：兵庫県加東市下滝野字安井593－3他

年 代：明治44年

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：旧工場の北西に建つ。桁行1.5 m、梁間2.5 m、南東隅方一間を欠込み、その東面を出入口とする。屋根は三連片流、棧瓦葺。外壁は鉄板で覆い、内部は一室とする。旧工場とともに明治創業時の工場の様相を今に伝える遺構の一つ。

備考（調査等）：『加東郡誌全』には、阿江織布工場は、大正10年末において、加東市・小野市域における作業従事者20人以上の工場17社のうち3番目の生産額であった。もと工場。

○登録有形文化財登録説明（6－6）

名 称：阿江ハンカチーフ検反場二（あえはんかちーふけんたんばに）

所在地：兵庫県加東市下滝野字安井593－3他

年 代：昭和30年頃

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：西側敷地の東面中央に開く門の北側に位置する。桁行8.9 m、梁間3.8 mで南面し、小屋はトラス組で屋根は片流棧瓦葺とする。外壁は下見板張で、内壁はペンキ塗とし、採光窓など良く残る。織物産業の生産工程を伝える施設の一つ。

備考（調査等）：建築年代は天井板に旧寄宿舍と同様の材料を使用していたことにより、同時代と推定。

○登録有形文化財登録説明（6－7）

名 称：阿江ハンカチーフ旧寄宿舍（あえはんかちーふきゅうきしゅくしゃ）

所在地：兵庫県加東市下滝野字安井593－3他

年 代：昭和30年頃

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：検反場二の北に南北棟で建つ。桁行2.2 m、梁間5 m二階建、切妻造。西面中央に玄関を付ける。内部は一、二階とも10畳を4室並べる。外壁はモルタル仕上げとし、玄関は円柱とする。織物産業を支えた工員の生活が窺える建築である。

備考（調査等）：建築年代は天井板に旧寄宿舍と同様の材料を使用していたことにより、同時代と推定。

○登録有形文化財登録説明（６－８）

名 称：阿江ハンカチーフ旧食堂（あえはんかちーふきゅうしょくどう）

所在地：兵庫県加東市下滝野字安井５９３－３他

年 代：昭和３０年頃

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：旧寄宿舍の北西に東西棟で建つ。桁行１１ｍ、梁間６ｍ、切妻造棧瓦葺。外壁は下見板張でペンキ塗とする。内部は現在改装されているが、瓦材など外観はよく残る。旧寄宿舍とともに、織物産業の従業員の生活様式を垣間見ることのできる施設である。

備考（調査等）：建築年代は旧寄宿舍と同時代と推定。

○登録有形文化財登録説明（６－９）

名 称：阿江ハンカチーフ旧製品倉庫（あえはんかちーふきゅうせいひんそうこ）

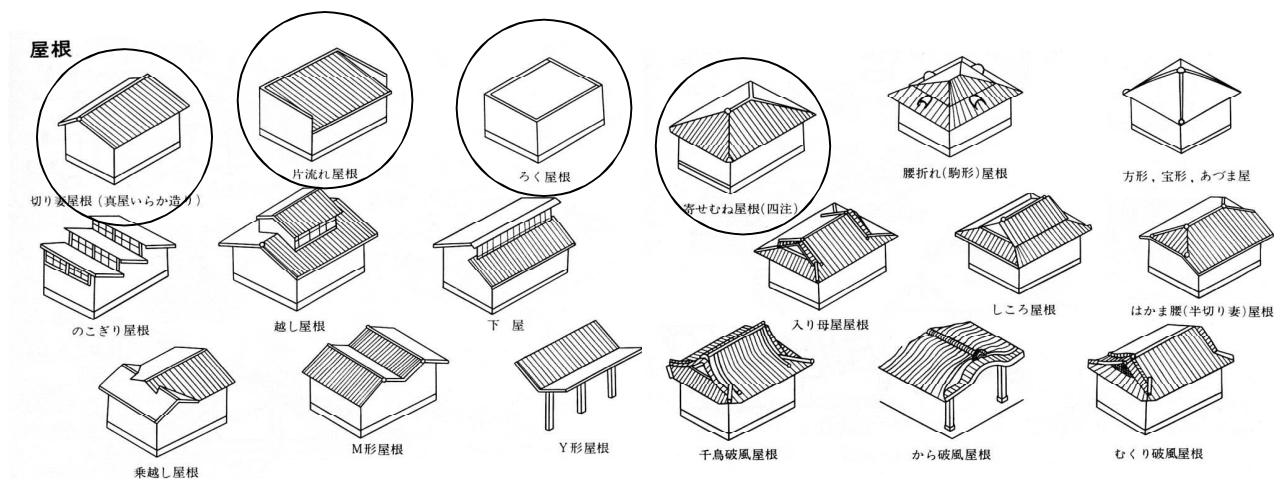
所在地：兵庫県加東市下滝野字安井５９３－３他

年 代：昭和２３年頃

登録基準：一 国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：東側敷地の北西角で道路に面して建つ。桁行９．９ｍ、梁間５．９ｍ、木造二階建、切妻造スレート葺で、正面に下屋を付す。両開扉は鉄板葺とし、二階南北面に各二所ずつ鉄格子入窓を開く。小屋はキングポストトラス。織物産業の関連施設の一つ。

備考（調査等）：建築年代は主屋と同時代と推定。



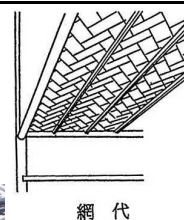
1 長田家住宅 (旧石阪家住宅)

■手斧 (ちょうな) 木材の表面を斫り取るための建築用具。

■網代 (あじろ) 竹皮・檜皮などの薄板を、斜め又は縦横に編んだもの。和風住宅の天井や生け垣等に用いられる。

■下地窓 (したじまど) 土壁の一部を塗り残して壁下地を現した窓。

■数奇屋風 (すきやふう) 床の間、棚、書院を備えた書院造の中で、田舎屋風の意匠を用いた形式。別邸や茶室に用いられたが、江戸時代には次第に広く普及する。



網代



▲下地窓

2 旧芦屋郵便電話事務室

■スクラッチタイル 成形後、表面を櫛引きして浅い平行の溝を作り、焼成した粘土タイル。
■側廊 (そくろう) 身廊の両側に存在する廊下状の部位。(本建物の場合は、本体の建物の外側に面してある廊下状の空間)

3 旧高砂銀行本店 (高砂商工会議所会館)

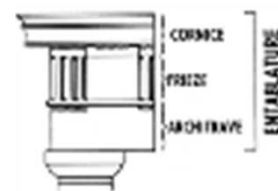
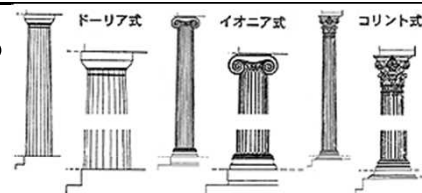
■イオニア式オーダー イオニア式は、古代ギリシア建築における建築様式(オーダー)のひとつであり、ドーリア式、コリント式と並ぶ3つの主要なオーダーに位置づけられる。(右図)

■パルメット文様

■持送り (もちおくり)

■エンタブレチュア

シュロの葉を扇状に開いたような植物文様。
壁や柱から突出して庇・梁などを支える部材またはその構法。
ギリシャ・ローマ建築で、柱で支えられる水平部分の称。コーニス、フリーズ、アーキトリーブからなる。



エンタブレチュア

4 旧高砂通運本社屋

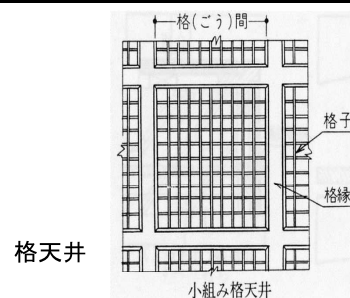
- スクラッチタイル 成形後、表面を櫛引きして浅い平行の溝を作り、焼成した粘土タイル。
- 寄棟造(よせむねづくり) 大棟と四つの棟をもつ屋根形式、あるいはその屋根をもった建物形式。四注屋根ともいう。
- 先頭頁図
- モダニズム 過去の伝統的な装飾などを排除し、機能的な平面・立面を追求しようとする考え方。

5 旧高砂消防会館・南本町巡査派出所

- 陸屋根(ろくやね) 屋根面が平坦な形をした屋根。
- 先頭頁図
- 破風(はふ) 屋根の妻に垂木を隠すように取り付けられた厚板。

6 阿江家住宅・阿江ハンカチーフ

- 格天井(ごうてんじょう) 格縁と格間とよりなる天井。格縁を十字に組み、格間は普通正方形。
- 持送り(もちおくり) 壁や柱から突出して庇・梁などを支える部材またはその構法。
- 軒付壁(のきづけかべ) 右下写真参照。
- 切妻造(きりづまづくり) 切妻屋根(棟を頂点としてふたつの傾斜面が合わさって三角形をつくる屋根)をもった建物の形式。
- 妻入(つまいり) 建物の妻(梁間方向の短い面)の側に主となる入り口がある建築形式。



格天井

- 蔵前(くらまえ) 土蔵前の室または廊下。
- 海鼠壁(なまこかべ) 瓦を張付け、その目地にしっくいをかまぼこ状に小高く盛った壁。
- 黒漆喰(くろしっくい) 漆喰は、石灰に糊(のり)を混ぜた壁塗りの材料のこと。これに灰墨を混ぜると黒漆喰となる。



軒付壁

- 力織機(りきしよつき) 機械動力式の織機。
- 片流屋根(かたながれやね) 片方向に勾配が付いた屋根。

- 先頭頁図
- トラス

部材を三角形に組み合わせ、各接点をピン接合とし、各部材に軸方向の力のみが生じるようにした骨組み。

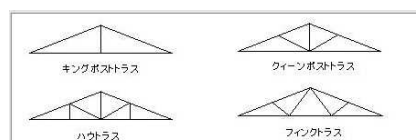
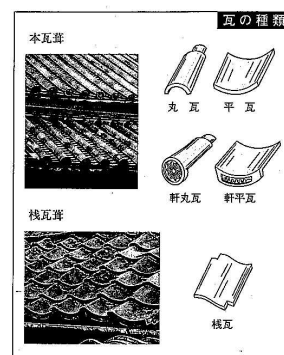
- 棧瓦葺(さんがわらぶき) 本瓦葺の丸瓦と平瓦を一つにした棧瓦を使った葺き方。葺上げたとき、勾配の下方向になる一隅(重ね部)に切込みがある。

- 下見板張り(したみいたばり) 家の外部の壁を横板張で蔽う手法。各板が少し重なり合うように取り付ける。

- スレート葺 スレートと呼ばれる平板の葺材を使った工法。粘板岩を用いた天然スレートと、人工的に作られた住宅屋根葺き用スレートがある。

- 下屋(げや) 主屋から差しかけてつくり出した小屋根、またはその下の建物部分。

- キングポストトラス 下弦が三角形の底辺を、上弦が三角形の2辺を構成し、三角形の頂点から下弦に向けて垂直材を備える、もっともシンプルなトラス橋である。垂直材をキングポスト(真束、しんづか)といい、下弦とともに引張力がかかる。



都道府県別登録有形文化財(建造物)登録数 3月10日答申分含む

都道府県	登録数	都道府県	登録数
大 阪	677	秋 田	190
兵 庫	650	島 根	186
京 都	510	福 井	181
長 野	505	山 形	180
愛 知	489	埼 玉	168
新 潟	439	福 島	167
香 川	397	熊 本	161
滋 賀	390	徳 島	159
東 京	357	北海道	145
群 馬	334	福 岡	143
茨 城	282	宮 城	131
岡 山	274	富 山	128
高 知	272	長 崎	125
奈 良	250	鹿児島	120
石 川	248	愛 媛	115
岐 阜	238	佐 賀	104
広 島	232	青 森	101
栃 木	231	山 梨	94
千 葉	231	山 口	94
三 重	231	岩 手	88
大 分	223	宮 崎	84
静 岡	221	沖 縄	82
神奈川	219	2 県にまたがる物件	-2
和歌山	212	合 計	11,263
鳥 取	207		

兵庫県为国登録有形文化財 件数・箇所数

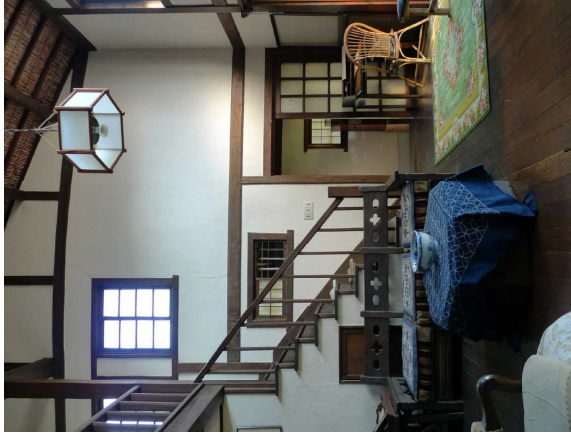
平成29年3月10日 答申まで

No.	市町名	件数			箇所数		
		登録件数	抹消件数	現在件数	登録箇所数	抹消数	現在数
1	豊岡市	100		100	16		16
2	神戸市	101	15	86	53	6	47
3	姫路市	58		58	11		11
4	朝来市	53		53	12		12
5	尼崎市	42		42	10		10
6	加古川市	36		36	8		8
7	篠山市	32		32	5		5
8	猪名川町	28		28	2		2
9	川西市	20		20	3		3
10	加西市	20		20	6		6
11	三木市	19		19	3		3
12	西宮市	21	5	16	7	1	6
13	加東市	16		16	4		4
14	丹波市	15		15	5		5
15	西脇市	12		12	2		2
16	たつの市	12		12	4		4
17	南あわじ市	11		11	3		3
18	洲本市	11		11	2		2
19	高砂市	10		10	8		8
20	宝塚市	10	1	9	6	1	5
21	佐用町	9		9	1		1
22	明石市	7		7	6		6
23	福崎町	5		5	2		2
24	新温泉町	5		5	1		1
25	芦屋市	5		5	3		3
26	香美町	4		4	1		1
27	三田市	3		3	2		2
28	多可町	3		3	2		2
29	太子町	2		2	1		1
30	淡路市	1		1	1		1
合計		671	21	650	190	8	182

※ゴチックは今回関係市



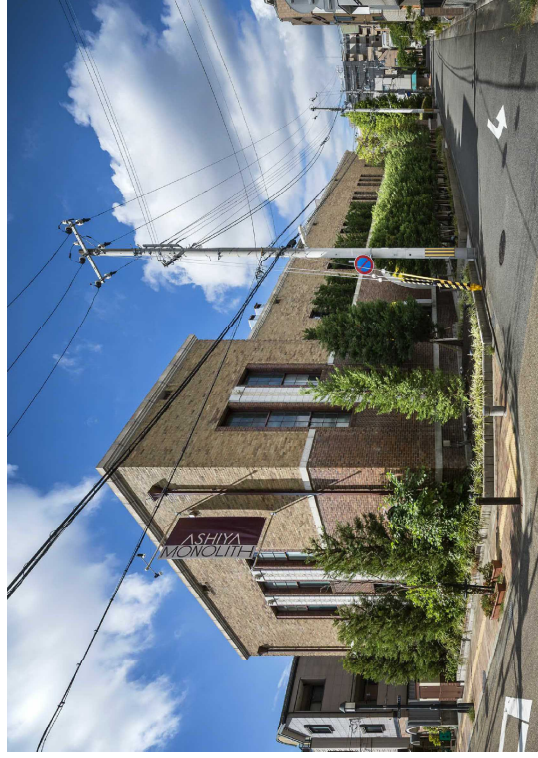
01 南側外観



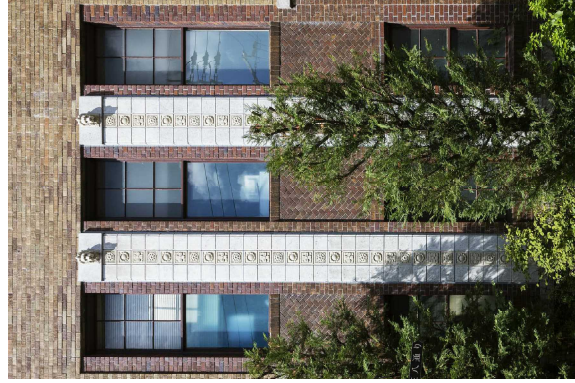
02 内観(応接室から玄関方向を見る)



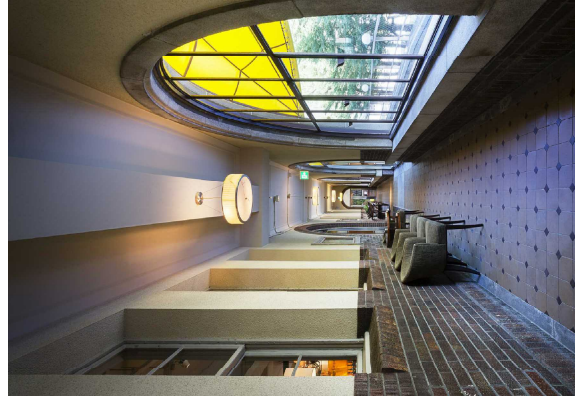
01南東面外観



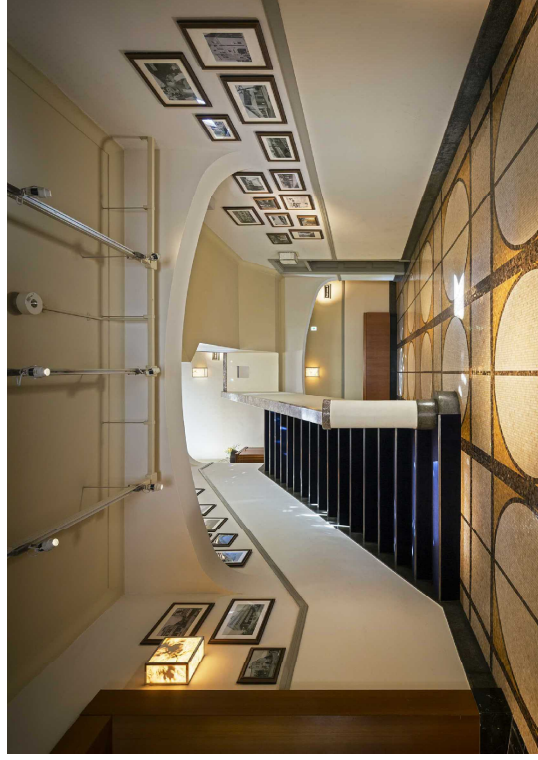
02北東面外観



03レリーフ・窓回りディテール外観



04内観1階_廊下



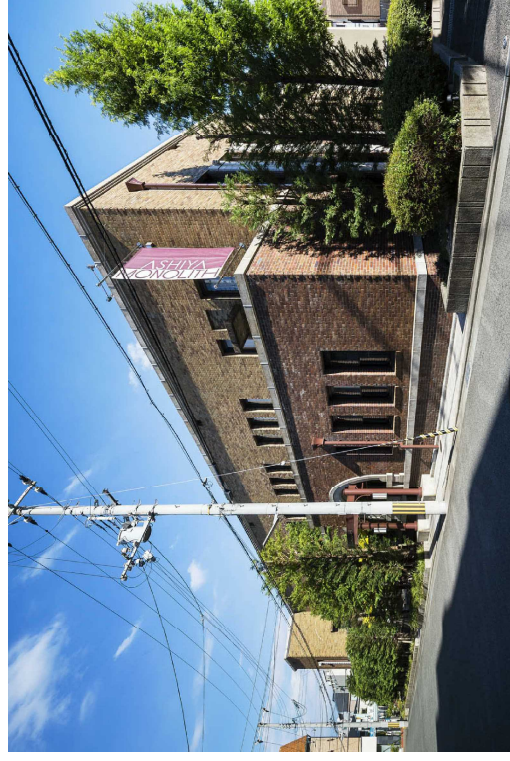
05内観1階階段



06旧女子休憩室兼食堂_現親族顔合わせ室内観



072階旧手動交換室・機械室_現バケット内観



08北西面外観

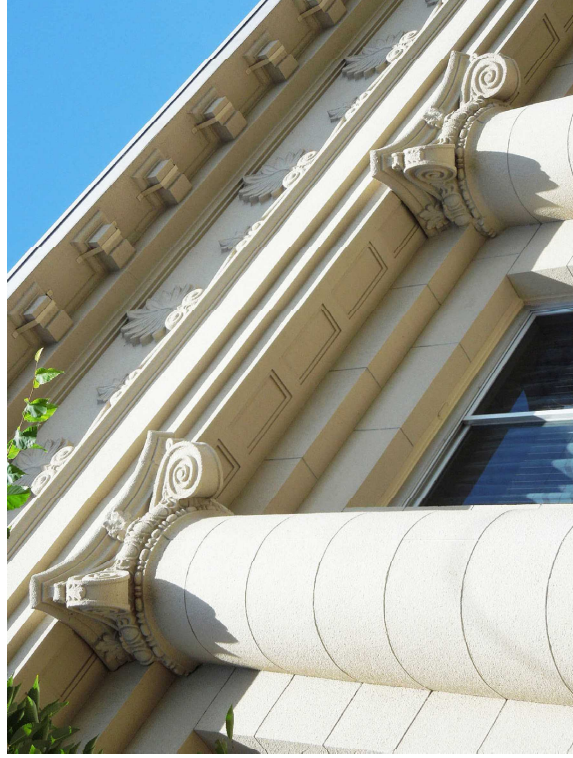
旧高砂銀行（高砂市教育委員会提供）



01正面ファサード



02正面出入口



03ジャイアントオーダー



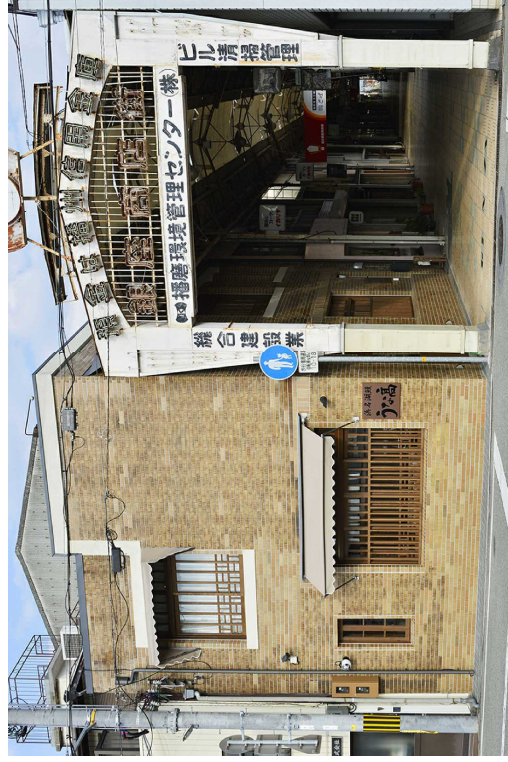
04建物南面



051階事務室を西側から観る



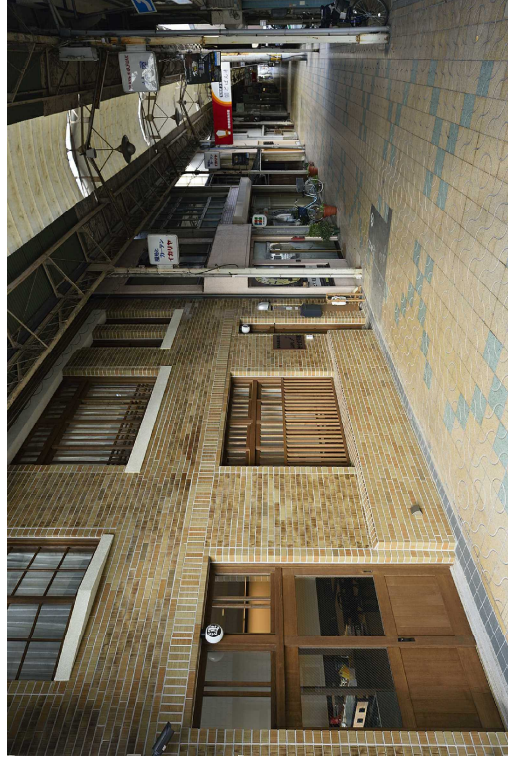
062階大会議室西側を観る



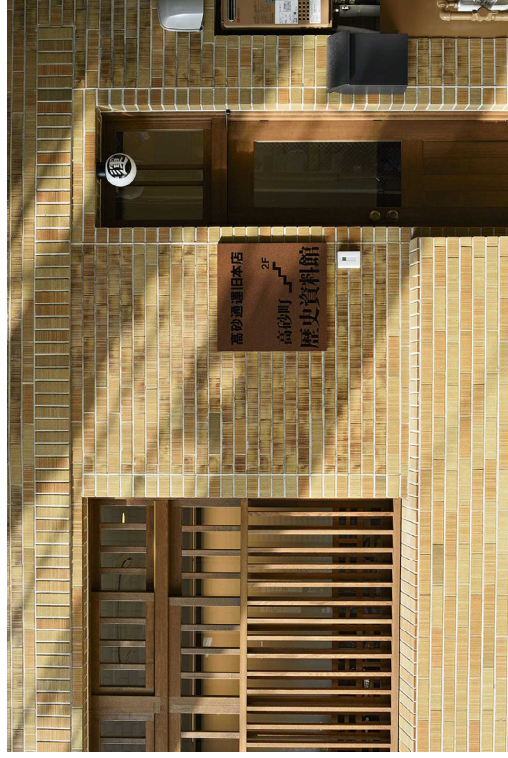
01 西側外観



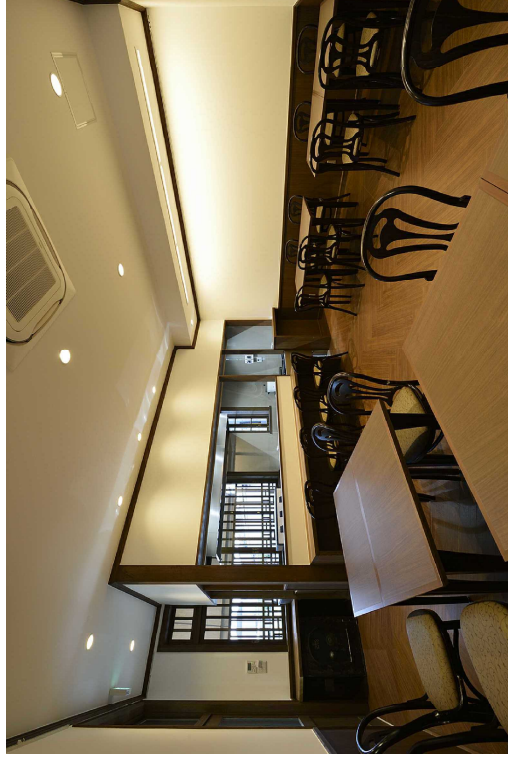
02 西側外観夜景



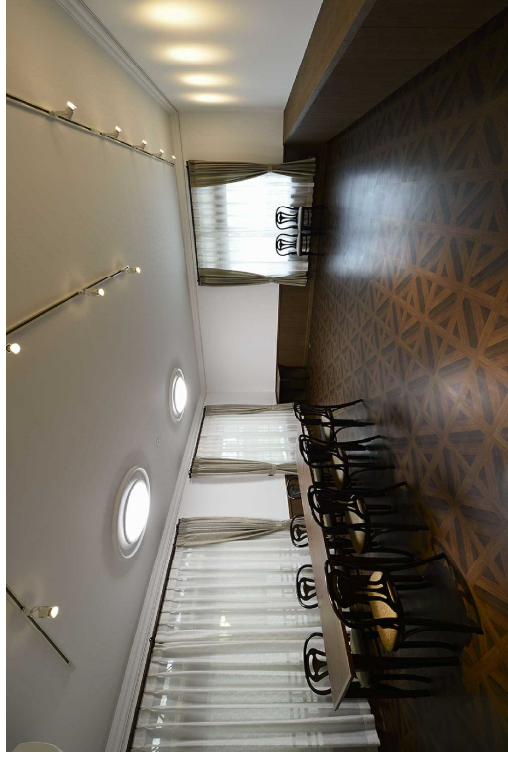
03 南側外観



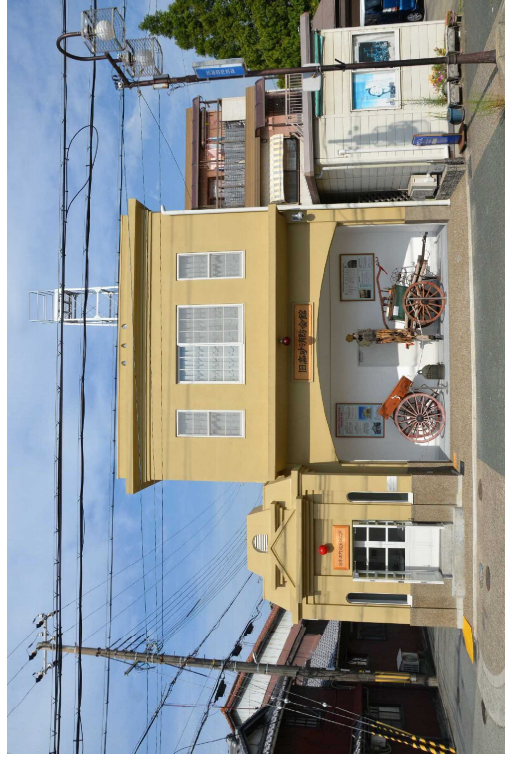
04 南側資料館入口



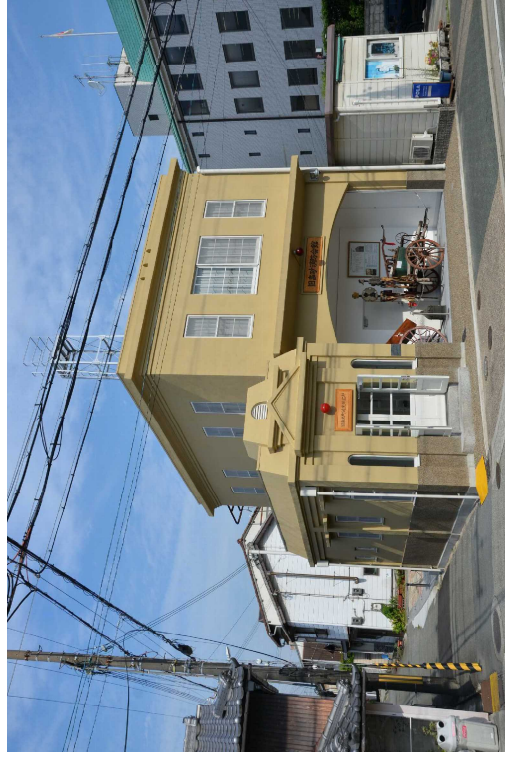
051階店舗



062階資料館



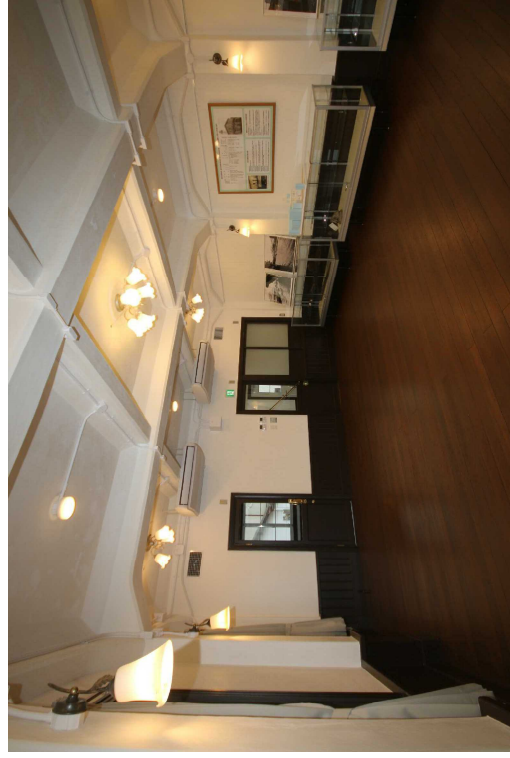
01正面外観



02正面左側面外観



03旧消防会館近景



04旧消防会館2階内観



01主屋北西棟(南東から見る)



02主屋北西棟(南西から見る)



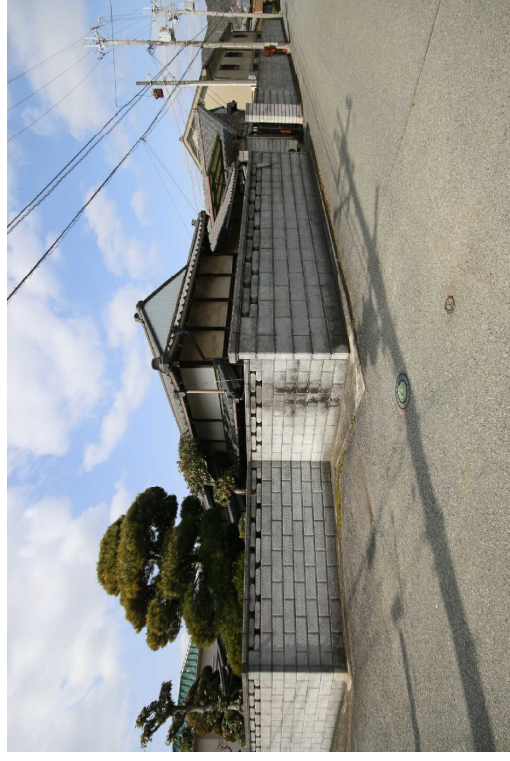
03主屋南棟 玄関(西から見る)



04内蔵(北西から見る)



05坪庭(南東から東西廊下を見る)



06工場全景(南東から見る)



07旧工場 外観(南東より見る)



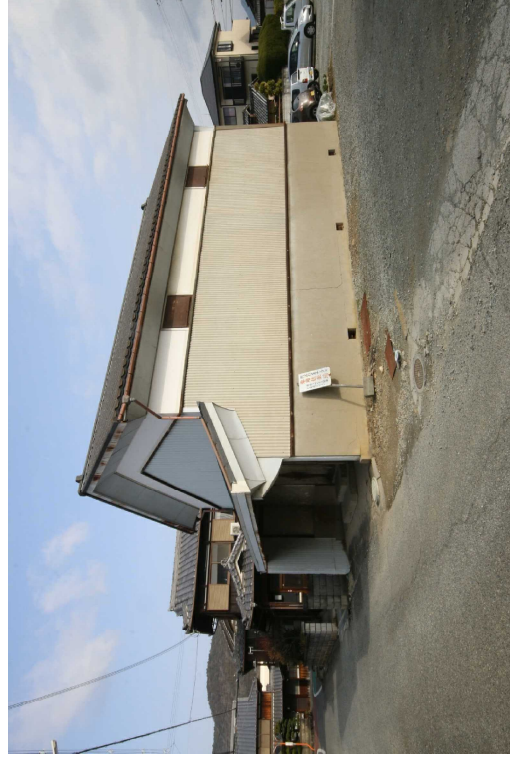
08検反場1 外観(南東より見る)



09検反場2 外観(南西から見る)



10旧寄宿舍 外観(西から見る)



11製品倉庫 外観(南西から見る)